

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 【新】ぎふの米販売強化事業費補助金（R8分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農產物流通課 流通企画係 電話番号：058-272-1111(内4062)

E-mail : c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 5,000千円 (現計予算額： 0千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500
決定額	3,000	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

2025年の米価高騰は、異常気象による収量減少、品質低下による精米効率の悪化、円安や資材高騰による生産コスト増、流通構造の変化などが複合的に影響し、過去最高水準となり、消費者や外食産業等に影響を与えている。米価高騰や供給不安の解消ため、米の生産拡大を推進するためには、販路拡大との両輪で進める必要がある。県産米の増産を支えるため、地域内での安定した生産・消費サイクルの構築が求められている。

(2) 事業内容

- 県産米の生産量を維持・拡大するために、安定した販路先の確保を推進する。
- 直売所等での年間予約販売の拡大推進
 - ・米の年間予約購入を推進する仕組みの導入又は拡充支援を行い、米の年間販売量の把握、計画的な販売・在庫管理を実施し、安定した消費先の確保につなげる
 - ・消費者との継続的な関係構築の推進

(3) 県負担・補助率の考え方

米の生産拡大を推進するため、消費・販路拡大を推進することは米価高騰や供給不安の解消につながるため、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,000	広報宣伝費、予約販売体制の構築、販売売場づくりの支援等
合計	5,000	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）

<基本方針3>新たな流通ルートの開拓

(1) 品目に応じた新たな流通ルートの開拓

(2) 国・他県の状況

国：米穀周年供給・需要拡大支援事業

産地と中食・外食事業者等との安定取引を拡大するため、市場開拓に必要な取組を支援

国：米需要創造価値推進事業

米の消費量減少に歯止めをかけるため、米の付加価値への理解に繋がる、年代ごとの食生活や意識変化に対応した情報発信の取組を支援

(3) 後年度の財政負担

県産米の安定した販路開拓のため、継続して実施

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県産米の需要拡大に向けて、県が実施

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	米予約販売強化事業費補助金
補助事業者（団体）	直売所等 (理由) 地消地産の推進及び流通コストの削減による生産者の所得向上
補助事業の概要	(目的) 米の年間予約購入を推進する仕組みの導入又は拡充支援を行い、米の年間販売量の把握、計画的な販売・在庫管理を実施し、安定した消費先の確保につなげる (内容) 広報宣伝費、予約販売体制の構築、顧客管理ソフトの導入、配送車両のリース、販売売場づくり等
補助率・補助単価等	定額・ 定率 その他（例：人件費相当額） (内容) 1/2 上限 500千円 (理由) 米の年間予約販売の導入に係る初期投資軽減を図る
補助効果	安定した販路先の確保及び県産米の消費機会創出の推進
終期の設定	終期10年度 (理由) 初期導入及び顧客拡大の推進のため

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 地消地産の推進及び流通コスト削減による生産者の所得向上
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R8年度 目標	R9年度 目標	R10年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
朝市・直売所販売額	172億円	174億円	176億円	178億円	178億円	96.6%

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 5 年 度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 6 年 度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	2025年の米価高騰は、過去最高水準となり、消費者や外食産業等に影響を与えていている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県産米の増産を支えるためには、安定した販路先の確保及び地域内での安定した生産・消費サイクルの構築が求められている